

●ポスターセッション (P-環境教育・国際協力-P-P01～P-P05)

P-P01 は地域の活性化を目指した住民共同による北大路魯山人生誕地石碑の建立に関する経緯を示したものである。古いムラの考え方が未だ残っている地域での共同事業を遂行することの難しさが示された。

P-P02 では、学生の意識向上を図ることを目的として、沈水植物を利用した堆肥作成を実施した例であった。得られた堆肥の C/N 比及びコマツナへの施肥効果よりその有用性が示された。今後は本法による持続的な環境学習を実施していくための体制作りが望まれる。

P-P03 では、データ管理の煩雑性を低減し、一般市民の参加を容易にするための、携帯電話を使用した水質データベースシステムを構築していた。来年度には多摩川流域において本システムが稼働することになるので、その成果が期待される。

P-P05 では、インドネシア・スラバヤ市において急激な都市化や河岸の不法占拠により水質汚濁が問題視されるカリマス川において、JICA の草の根共同事業により、河川汚濁負荷量調査を実施したものである。詳細な現地調査と情報収集により、発生源の特定と対策の提案がなされており、本研究の結果は現地の水質保全施策を実施する上で重要なデータになると考えられる。

(福岡県保健環境研究所 熊谷 博史)